

「である」と「する」こと

参考：舞姫

丸山真男

参考：森鷗外

初読感想

あなたは「豊太郎」の生き方や選択を理解できますか？

理解（できる・できない）

なぜそのように思ったのか、文中から、そのように考えるに至った理由を文中の行動や表現を活用して書きなさい。

友人の意見と比較して、どこが同じで、どこが違いましたか

共通点

相違点

あなたが「豊太郎」の立場だったらどうしますか？

「である」「ことと」「する」「こと」×舞姫

課題

『「である」「ことと」「する」「こと」で学んだことを使って豊太郎の選択について再考しよう。さらに、複数の文章を読むことで得た視点を実生活に当てはめ、見え方の変化をまとめよう。』

問

『「である」「ことと」「する」「こと」を読んでからもう一度『舞姫』を読むと「豊太郎」の生き方、選択をどのように感じるだろうか。』

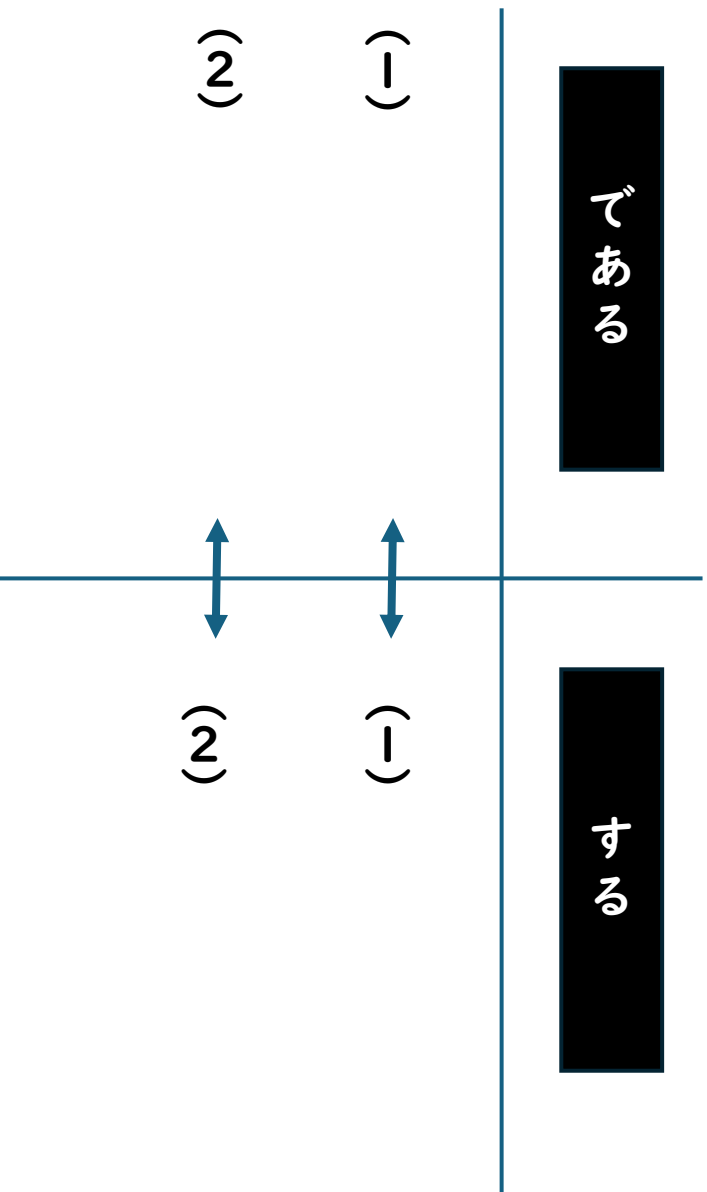
① 日常に潜む「である」、「する」を考える

〈復習〉「である」「ことと」「する」「こと」を読んで

そもそも、「である」、「する」とはなんだろう

「である」論理／価値↓肩書・立場・身分
「する」論理／価値↓成果・行い・意思決定

(1) 休日 (2) マスク



①「である」「ことと」「する」「ことと」で学んだことを確認しよう
『である』『ことと』『する』『ことと』第二段落より▽

・「である」「から」「する」「へ」の移行は、
いつに起きただろうか？

()

・日本の近代社会とはいっただろう？

() (以降を指す)

・近代社会の考え方の変遷

() (論理・価値)

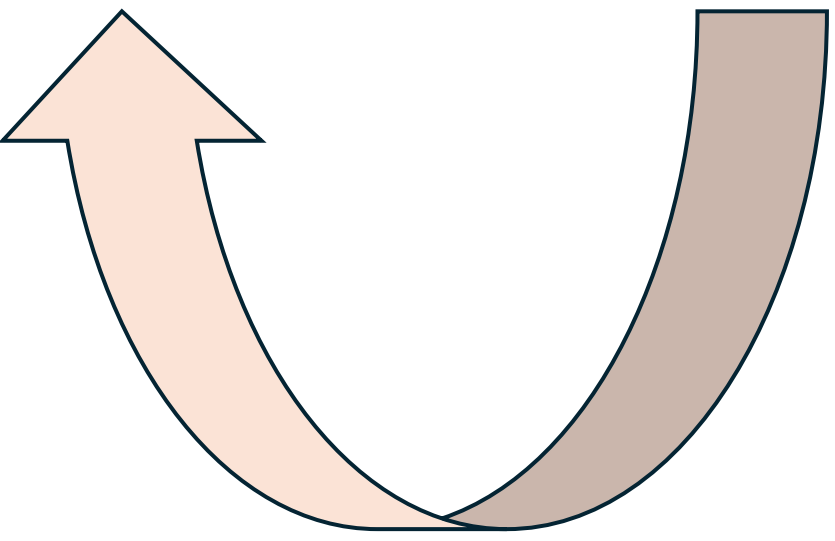


() (論理・価値)

・「舞姫」が書かれたのはいつだろうか？

1890年、() 時代Ⅱ近代社会

「舞姫」の世界は『である』『ことと』『する』『ことと』で述べられた世界



明治時代の「である」、「する」を考えよう

★価値観（身分制度／家・国家観）

身分制度

家・国家

①でまとめたことを基に、「明治時代」の男性の「である」、「する」を考えよう

である

する

②豊太郎にとって「である」「・」「する」とはどのようなものだろう。
（仕事↓恋へ）

である

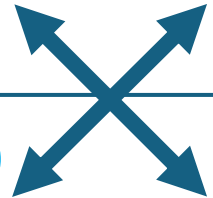
する

仕

恋

恋

仕



③片方だけでは見えなかったものは何だろうか？

再考してみよう

①、②、③を踏まえ、もう一度考えてみよう。
あなたは「豊太郎」の生き方や選択を理解できますか？
(時代背景、価値観、自分の経験などを根拠として用いましょう。)

複数の本や資料を比較することで『』である「ことと」する「こと」の理解が深まりましたか、気付いたことはありますか、考えたことをまとめよう

気付きを共有しよう

『』である「ことと」する「こと」という視点で実生活の一場面を取り上げ、見え方の違いや気づきを書いてみよう。